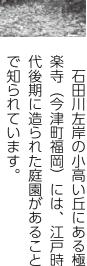
## 火 広報たかしま 成25年

月号 No.162





ができ、形式化しつつある配石で られた「枯山水庭園」です。小山然小山の傾斜を巧みに利用して造 組み方などに古い様式を見ること れています。このことから、この たえのある枯滝石組があり、山裾石が配され、中央下方には見ご 石、左手に臥石を配した石組(三心に据え、その右手にやや低い立 江戸時代後期の庭園ですが、 情を模したものとされています。 景色は滝からの水を湛えた池の風 にも多くの石があります。 なっています。山腹には点々と景 センチ・厚さ45センチの立石を中 の頂上には、 「水分石」と呼ばれる石が据えら一面のスギ苔で覆われ、苔の中に 庭園は、本堂の南に位置する白 が庭の要となる意匠に 高さ85センチ・幅55 前面は 石の

よく伝えるものとされています。 はあるものの、 当時の庭園構成を

こと、 ます。 勧寿和尚の願いにより築庭されたの庭園は、極楽寺中興第十世説譽 延べ45人の檀信徒や寺子が庭作りことなどが記されています。また ていた岩崎清光という庭師である 大浦) 園の作者はたまたまこの地に寄郷 ものであることがわかります。 を手伝って完成したと記されてい 雑用代に金2両の費用がかかった にお礼として金1両、 の15日間であること、 した大浦(現在の長浜市西浅井町 (1823) 年6月16日から30日 極楽寺に残る記録によると、こ 築庭に要した期間は文政6 出身で、江戸で庭師となっ 極楽寺中興第十世説譽 石代、 作者の清光 酒飯 庭

摘されています。 組みなど作風が共通することが指 寺・古茂池庵)に残っており、石は現在でも兵庫県(観正寺・護念 なお、 清光作と伝えられる庭園

> した。 62年に滋賀県の名勝に指定されま べてがわかる点が評価され、 庭の時期が明確でない中にあっ 時代後期の庭園構成をよく残して いるほか、 このように極楽寺庭園は、江戸 施主、作者、 多くの庭園が作者や作 時期、 経緯のす 昭和

ます。 うけて後世の住職が「歓寿園」との庭園は、願主 勧寿和尚の名を す。近隣の人々からも親しまれ、 命名し、大切に守り継がれていま しむ人たちが度々鑑賞に訪れてい **延園研究にかかわる人や庭園に親** 今から190年前に造られたこ

## 固文化財課

(32) 4467

毎年6月になると、私が 所属する消防団では、消防 ポンプ操法大会に向けた練 習がはじまります。地域の仲間ととも に消防操法の技能を少しでも高めるた 運動不足の体にムチをうって練習 しています。大会の結果はいかに… 今年は、先日のマキノ町在原での火事 を含め、市内で火事がたくさん起こっ 火の取り扱いには十分注意してくださ (S)

火災のあった在原区を支援する募金窓 きました。P33 を参照ください





